

◆告知◆

# 原稿募集

群馬県立女子大学群馬学センターでは、『群馬学研究・KURUMA』の原稿を募集しています。投稿を希望される方は、次に掲げる刊行の趣旨、投稿規定、執筆要領、及び諸権利の扱い等にご留意のうえ応募してください。

## 1 原稿募集と刊行の趣旨

群馬県立女子大学が推進する群馬学の確立と探求に資する調査研究の成果を、学問分野や学内外を問わず広く募集する。応募投稿は定期刊行誌『群馬学研究・KURUMA』に掲載して公開・発信し、広く評価・批判を求めるとともに、学術情報として蓄積・継承していく。そうすることで、地域文化としての「群馬」の持続的発展と、我が国の地域学の確立・発展に寄与することを目的とする。

## 2 群馬学について

群馬学とは「群馬」固有の地域課題を設定し、その課題を解決しようとするときの基底的で根源的な問いである「群馬とは何か」、「地域とは何か」を探求するための学である。そのために群馬学は「3つの開かれた学」であろうとする。第1は偏った郷土意識にとらわれないこと、第2は特定の学問分野に留まらないこと、第3は大学研究者と地域の研究者がともに交流し練磨し合いながら研究・実践することである。

## 3 募集内容

- (1) 群馬学、または地域学に関連する未公表の論文、資料・事例紹介、書評等。
- (2) 編集委員会が適当と認めたもの。

## 4 応募資格

- (1) 前項1、2の趣旨に賛同する学内外の者
- (2) その他編集委員会が必要に応じて依頼する学外の者。

## 5 応募方法と締め切り

投稿希望者は次項「執筆要領」に基づいて原稿を作成し、①氏名、②所属、③住所、④電話番号を明記のうえ、下記あてEメールまたはファイル共有サービス等で提出する。提出された原稿及び電子媒体は返却しない。

〈提出先〉 群馬県立女子大学群馬学センター KURUMA 編集委員会

Eメール：gunmagaku-center21@mail.gpwu.ac.jp

〈締め切り〉 随時

## 6 掲載の決定

応募原稿の掲載の可否、掲載号は編集委員会が決定し、応募者へ通知する。その際修正を求める場合がある。

## 7 執筆要領

### (1) 刊行物の体裁

A 4判・横書き・左開きとする。

### (2) 原稿（ファイル）の形式

原稿（ファイル）はMicrosoftWord形式を用いて次のページ書式で作成する。

### (3) ページ書式

〔横書き〕23字×40行×2段=1,840字

\*題名・氏名分として1頁目冒頭に8行×2段（368字）をあてること。

### (4) 分量

論文・研究ノート 〔横書き〕12頁(21,600字/原稿用紙54枚)以内

資料・事例紹介、書評、その他 〔横書き〕6頁(10,400字/原稿用紙26枚)以内

\*写真・図表等は字数に含む。偶数頁推奨。

### (5) 各種表記

①数字は原則としてアラビア数字を用いる。

例) 「109,300円」 「850~860個」 「1/3」 「26.5%」

②年次を西暦表記する場合には必要に応じて（ ）で和暦（元号）を付す。年次を和暦（元号）表記する場合には必ず（ ）で西暦を付す。

③註は本文末尾にまとめ、本文中の句読点前に参照番号（1）（2）……を示す。

④参考文献は末尾（本文・註の後）にまとめ、表記方法は各分野の慣例にならう。

### (6) 図表

①図表は原則として執筆者が作成する。本文中には挿入箇所のみを示し、図表データ（jpg推奨）は本文原稿とは別に添えて提出する。

②図表のキャプションは通し番号、タイトル、出典（所蔵）・場所等の順で記す。

### (7) 校正

執筆者校正は原則初校のみとする。

## 8 諸権利の扱い

### (1) 各著作物における引用・使用箇所の著作権等の処理

本誌に掲載する個々の著作物における引用・使用箇所にかかる著作権や肖像権等の使用に関する手続き（使用許諾申請、使用料負担）は、本誌がオープンアクセス（次項参照）であることを明示した上で執筆者が行う。

### (2) オープンアクセスのための著作権使用の承認

本誌は本学ホームページ内で順次（次号刊行後）公開する（オープンアクセス）。そのため、執筆者は群馬県立女子大学群馬学センターに、本誌掲載の著作物の著作権の一部（複製権、公衆送信権）の使用を承認することとする。

## 9 その他

執筆者には紙媒体の掲載誌3部と抜き刷り50部、及びPDF版の抜き刷りを進呈する。

■問い合わせ先■

群馬県立女子大学事務局連携推進係 群馬学センター担当

住所：〒370-1193 群馬県佐波郡玉村町上之手1395-1

電話：0270-65-8511（代表）